



一月三日刊行東京タイムス抄譯  
日本理財ノ景況

大藏省  
翻譯課

4238





A14  
A1424



日本理財ノ景況

大正十一年四月  
侯爵邸寄贈

府ノ大蔵卿、茲ニ其豫算表ヲ製定ス而シテ客歲十二月  
 於テハ異変非常ノ事百出シタルヲ以テ能ク之カ料  
 方ヲ得ルヤ蓋シ難シ云フ可シ是ヲ以テ之カ当局ノ大蔵卿、  
 何ホノ方法ニ因テ此ホノ事項ヲ整理シタルヤニ世人ノ何一  
 目スル一層密ナル所アルモ亦謂アルナリ今其責任ヲシニ重且  
 ツ難ヲ致シメタル所以ノモノ數者アリ其一ニヲ掲ヂヤハ地  
 租ノ大減アリ華士族ニ義務ヲ尽スヘキ責任アリ又慥悍猖獗ノ  
 乱賊發起ノ変アリ而シテ地租ノ大減ト華士族ノ禄制トハ豫メ  
 之ニ籌畫ノ方ヲ得ルモノト虽モ反賊發起ノ如キハ豫期ス可ラ  
 ス是ヲ以テ之カ為ニ費途ノ不償ヲ辨スルハ後來ノ籌策如何ニ  
 因テ僅カニ之ヲ填塞スルヲ得ル而已然リ而シテ此ホノ難事ヲ  
 整齊調理シ以テ目下國幣ノ逼迫ヲ救済シタルノ措置如何ハ後

大正十一年四月



章ニ掲出シタル所ノ整頓ニタル豫算書ヲ熟視セハ大ニ了解ス  
ル所アルヘシ

然リト虽モ其豫算表中緊要ノ數項ニ至テハ詳細明報ヲ欠クモ  
ノ如シ而シテ前年ノ豫算表ノ如キハ實際ノ決算ヲ明示セサ  
ルカ故ニ蟬脱ノ計算ヲ免カレス是ヲ以テ本期豫算表ノ如キモ  
或ハ其決算ノ實ヲ見サルニ於テハ其蟬脱ヲ免カレサルヘシ我  
輩竊カニ以テラク大藏卿ハ尚ホ前策ヲ固守シテ當ニ其豫算ノ  
ミヲ明示シ其實ヲ檢照スルニ憑據トヘキモノヲ明白ニセサル  
以上ハ其豫算ノ信憑スヘキモノト否ラサルモノトハ徒ニ世人  
ノ相像ニ因テ左右スル而已是ヲ以テ今日ニ至ルマテ之ヲ欠  
ト批評セシムルニ至レリ然レモ尚ホ曰ク是ニ拠テ其決算ヲ明  
スルノ無レハ世人ノ喋々スルヤ疑ヒナシ此時ニ當テ之ヲ辨駁  
スルニ亦何ホ確實的ノ辭アルヤ我輩ノ解セザル所ナリ而シテ

今其豫算表 鞏固ナラサレヤ斯ノ如シト虽モ之ク為メニ從來  
理財ノ方略ニ世人ヲシテ不信ヲ懷カシムルカ如キ事アラサル  
ヤ明瞭火ヲ暗レ如シ

我輩ハ豫算ト決算トノ間ノ正確ナル違差ヲ知ランコトヲ希シ  
ス而シテ其違差果シテ僅少ノモノトセハ之ヲ明示スルトモ  
敢テ世人ノ憂冀或ハ政府ノ不都合ヲ招クカ如キモノニマラサ  
ルナリ仮令モ其詳細ノ計算ハ人衆ノ得テ知ルヘカラサレ所ナ  
ト虽モ内閣諸公及ヒ許多ノ官員ハ其如何ヲ知ルコトヲ得ル  
テ明カナリ而シテ今若シ其豫算ト決算トノ間ニ多年大ニ誤差  
ヲシタルモノト仮想セハ豈ニ敢テ其人ノ信義ヲシテ今日ニ  
至ルマテ保続セシメタルノ理アランヤ況ンヤ其精神ハ現時國  
家ノ財政ヲ司掌スルノ重職ニ坐セルニ於テラヤ焉ソ孟浪輕  
浮ノ處置アルヲ得ンヤ試ニ思ヘ大藏卿ハ既ニ穎悟敏捷ヲ以テ



幾シト瘡瑾ナキ地位ヲ占有シタル以上ハ其年々ノ計美ニ於テ  
歳入出ノ間ニ大ナル違差ヲ醸生スルカ如キ美ナキハ我輩ノ深  
信スル所ナリ

我輩ハ今回ノ豫算書ヲ後章ニ掲載シタルカ故ニ茲ニ其詳細ヲ  
贅言セス今其豫算書ノ簡單ナル所ノ如キモノトセハ嘗テ之ヲ  
視ンコトヲ渴望シタル人々ノ過テ其詳細ヲ遺漏スルカ如キ  
是ヲカルヘシ其書ノ体形ハ前年ノ書ト類似セリ而シテ八百  
七十五年七月ヨリ以下三ヶ年間ノ比較表ハ豫算工ノ歳入出ニ  
於テ漸次變更ヲ示シ又緊要ノ事項ニ至テハ其金額ノ増減ヲ  
記セリ而シテ其豫算ニ稍々異特ノ處アリ乃チ國債ハ各種皆之  
ノ記載ニ且ツ準備金其他諸項ノ添加是ハ諸項ハ掲載スルニ及  
バザルベシトノ意ナリ  
是ナリ然リト虽 其叙言ニ於テ大蔵卿ノ言ノ剴切ナルハ我  
輩ノ志ヲ曾テ見サル所ニシテ大ニ感慨スル所アルモノ、如シ

是ノ如ク之ノ親ハ其侃々タル直言ハ以テ豫算ノ目途ヲ達ス  
ルニ見ルニ足ル所ニテ國幣ノ逼迫ニ拘ハラズ其豫算ニ於テ苟  
クモ不足ナク歳入出ノ整理其宜ヲ得タルハ寔ニ至大至重ノ  
ニアラスヤ故ニ實際果シテ此美ノ如クナラハ其決算正ニ至リ  
スベシ而シテ内國債ノ大ニ増加シタル原因ハ華士族ノ俸給ヲ  
交換スルカ為ニ所謂祿券ナルモノヲ發行スルト又貳千七百萬  
円ノ紙幣ヲ増發シタルトニ在リ今夫レ賊徒征討ノ費用ヲ四千  
貳百万円ト為スニ於テハ増發ノ紙幣貳千七百万円ハ意外ニ僅  
小ノモノト思考セサルヲ得ス然レ其他ニ此非常ノ費用ヲ填塞  
シタルノ方畧ヲ察陳セリ之ニ依テ我輩ハ僅カニ其方略ノ一二  
ヲ端倪スルヲ得タリ  
抑モ西南ノ役ニ其費用セル所鉅多ニシテ大蔵卿ノ最モ憂苦ス  
ル所ナリ是ヲ以テ大蔵卿ハ簡單ノ切言ヲ以テ其憂心ヲ偏ニ吐

大蔵省



露シタルモノ、如シ而シテ本期會計年度ニ於テハ明カニ歳入ニ大ナル減少ニツト虽モ竟ニ能ク歳入出ノ歧途ヲシテ符合セシメリ且ツ大蔵卿ハ必ラスレモ其豫算額ヲ超加スル事ナキヲ至シ内閣諸公ニ向テ務メテ其額ヲ減省スルヲ得ハ幸ニ其学ヲ吝ム勿レト云ヘル如シ而シテ其言辞ノ直筆正馬ハ敢テ一點ノ包蔵スル所ナキヲ見ルニ足ル加之苟シクモ窘迫挫折ノ色ナシ況ンヤ客歳ノ旧臘ニ於テ不足ノ端ヲ開キ為ニ吃愕シタルカ如キ景情ナキニ於テヲヤ

今其國債ヲ云ハハ貳億万圓以上ニ増加シタリト虽モ其金額中大半ハ華士族ニ負フ所ノ義務ヲ尽サンガ為メ金貨ナリト思考スルニ於テハ仮令モ一時國債嵩ミタラト虽モ到底一國ノ利益ナルベシ然レモ先ニ其俸祿ヲ世襲ノモノトモハ邦家ノ裕蔵ニ取ラハテ遠遠無限ノ重荷ナルベシ抑モ今回發行シタル紙

幣ノ高ハ意外ニ鮮サニシテ且ツ之ガ償却ノ方法ハ國內ニ於テ拮据スルヲ得ルモノトシテハ敢テ外國ノ擅行ニ與カラサルモノナリ而シテ外國債ノ如キハ常ニ僅サニシテ今時ニ至テハ僅カニ壹千三百万圓有餘ニシテ前年ニ比スレハ幾ント壹百万圓減省セリ故ニ遠カラステ之ヲ償却シ了スルハ我輩ノ疑心ヲ抱カサル所ナリ而シテ自今日本國ニ於テハ再ヒ外債ヲ徵募スルカ如キ策ヲ行ハサルヘシ

却說豫算表ニ就キ日本理財ノ景況ヲ窺視スルニ概ネ好景氣ナリ就中外債ノ如キハ最モ好シ之ヲ要スルニ客歳陽春以來屢々異災非常ノ事ニ遭遇シタルカ故ニ當ニ待ツニ國帑ノ疲弊ヲ以テスヘキニ却テ然ラスレテ満足スヘキ光景ヲ呈スルニ至レリ故ニ内ハ内閣諸公及大蔵卿ヨリ外ハ衆庶ニ至ルマテ熙々トシテ和樂シ以テ此祥瑞ヲ慶賀セスンハ非ス然レモ動モスレハ世間



妄リニ将来ヲ説クモノヤリテ自己ノ揣摩臆測ヲ逞フニ凶兆悲  
慘ノ状ヲ演説シ以テ日本理財ノ衰運ヲ鳴ラスモノアリト虽モ  
争テカ其圭運鬱興ノ光景ヲ毀フモノナランヤ要スルニ妄誕偽  
造言辭ヲ免カレサル也



